



1	木	サロン
2	金	豆まき/ピヨピヨ
6	火	巡回相談
7	水	絵本の読み聞かせ(5歳児)
10	土	発表会(2歳児以上の参加)
15	木	交通安全教室(1歳児以上)
16	金	カレーの日
19	月	保育参観(にじぐみ・きりんグループ)
20	火	保育参観(ひかりぐみ・ぞうグループ)
21	水	保育参観(ほしぐみ・だいちぐみ)
22	木	誕生会
23	金	避難訓練
27	火	リトミック
28	水	不審者対応訓練

暦の上では、そろそろ立春ですね。寒い冬の自然を肌や目で感じながら、春の訪れを子ども達と探して行きたいと思います。



予報どおりの寒波襲来
雪が降り出すと
子ども達は「雪だー雪だー！」と大喜び
降り注ぐ雪に、口を空に向けて開け
食べようとしている。
大人の思いなど構わず
「いっぱい積もればいいな」と言ってお帰った。
また、この寒波のせいか、インフルエンザが
猛威を振るっている。
幼稚園も小学校も学級閉鎖が相次いでいるが、
刺すような寒風の中、
半袖・半ズボン、袖なしの子もいて
来客がギョッとして、目を丸くする。
残雪の中、ここの子はもう春、いつも春。

今月の予定から...



- 豆まき&おにぎりデー(2日)
子ども達は鬼の面を作ったり、鬼にまつわる絵本を見たり、節分の日を身近に感じています。鬼の嫌がる焼いたがしを保育室のドアに挿し、豆まき当日を待ちます。昼食は「おにぎりを切る」おにぎりを「おにぎり」ということでおにぎりを食べ、鬼をやっつけます。
- 巡回相談(6日)
育児の事等ご相談のある方はどうぞお声掛けください。また、何かありましたらいつでも園にご相談ください。
- 発表会(10日)
今年からII部制で行います。開園時間や内容など、詳細につきましては、先日の配布物をよくご覧ください。後日プログラムを配布します。
- 交通安全教室(15日)
今回は教職員の方々に劇をして頂きます。毎月、交通ルールを楽しく学んでいます。子ども達の中には「シートベルトしてないよ!」や「お母さんがブレーキかけてぶつけたの!」などと話す子もいて、驚くことがあります。命とルールの大切さを子ども達に伝えたいですね。
- カレーの日(16日)
カレーの日は、異年齢交流を行いながら子ども達は、それぞれの役割を果たします。自分のエプロン、三角巾や朝の仕度が出来ているか、手を掛けないで目を掛け、待つゆとりが欲しいですね。(なかなか難しいとは思いますが...)
- 保育参観(19日・20日・21日)
今年度最後の保育参観です。お弁当デーは給食献立表を確認してください。詳しい日程は後日お知らせ致しますが、内容については現在検討中です。お楽しみに!
- 誕生会(22日)
先生達の手作り大型紙芝居が出し物です。子ども達の反応が楽しみです。

☆おしらせ☆お願い

☆先月は、園内でインフルエンザが猛威を振り、保護者の方々には色々ご協力を頂きまして有難うございました。
☆H30年度の入園・進級式は4月7日(土) 9時半〜午前中です。なお、当日の土曜保育は行いません。詳細は後日お知らせ致します。
★毎日の送迎の際は駐車場が混雑し大変ご迷惑をお掛けしております。特に迎えの際は、お子さんを引き渡した後、ほかの方への配慮も含め速やかに降園していただけるように、お願い申し上げます。



「雪合戦ができなかった園長」

「雪やコンコ...犬は喜び庭駆けまわる」。関東地方にも雪が沢山積りました。雪が降ると喜ぶのは、子どもと犬と幼稚園の先生。何故かワクワクするので。雪景色の中で、楽しく遊んでいるイメージが湧くのです。反対に、大人は雪かきなど余計な仕事が増えたり、通勤に苦労したりすることが連想されるので、「積もらないでくれ!」と思うのでしょうか。

22日(月)の夕方から、急にボサボサと降り始めたので、各園に「早く帰るよう」に連絡した後、仕事を続けていました。机から顔を上げると、外はかなり積もっていました。あわてて帰る準備をしようと、道路もかなり積もっていました。殆ど走っている車はありません。慎重に運転して家に着くと、長靴をはいて、直ぐに、近くの公園へ行きました。一面の銀世界です。公園の外灯に照らされて、白いフワフワの雪景色です。何だかロマンチックな光景でした。心の中でヨシこれなら雪合戦・雪だるま・ソリすべり、いっ

ぱい遊べるぞ!と思わずほほえんでいました。子ども達がやっていたように、光に照らされキラキラ降り注ぐ雪に口を開けてみましたが、雪は口の中に入っているのか分かりませんでした。人が見たら、頭のイカレタお爺さんと思っただけでしょう。雪まみれになって玄関に入ると、カミさんが、何やってたのよ!と口を尖らせました。公園に行ってきたこと、いっぱい雪が積もっていたこと、明日はいっぱい遊べそうにワクワクしていることを伝えようと、「いいジイさんがバカみたい」と叱られました。

翌朝、早目に龍ヶ崎の園に向かいました。いつもの道をトロトロ走って行くと、橋の手前の坂が渋滞して動きません。時間が経つばかりで、この日の午後は来客もあつたので、これでは幼稚園に着く頃には、帰らなければなりません。「明日もあるから」と諦めて帰ることにしました。その翌日、園に着くと、職員室に入らず、そのまま外で子ども達と遊ぶことにしました。すぐに「雪合戦」とばかり、柔らかい雪を見つけて投げました。子ども達も応戦してきました。直後にガツンと石をぶつけられたような衝撃を後頭部に受けました。「イテテ」と頭をかかえ、「石はだめだよ、怪我しちゃうよ。」と振り返ると、呆然とたたずんでいる子がいました。「石ではないよ」と指差す先に、少し雪のついた氷がありました。一瞬にして戦意喪失。危険なので雪合戦は止めました。ソリをしようとする、「園長先生はデブだからソリが壊れちゃうよ」と貸してくれません。強烈な寒波のお陰で、今でも、北竜台は雪の世界ではなく、氷と雪解けの泥の世界です。やはり、雪の後は嫌です。

理事長 浅田 精利

